

# ひまわり

札幌市立幌北小学校ひまわり分校  
札幌市立北辰中学校ひまわり分校  
学校だより

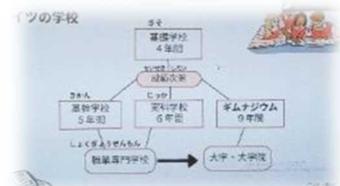


令和6年7月16日

第15号

## 国際交流員のフローラ・タイリさんに教えてもらおう！

ひまわり分校では、1年間に2回、国際交流プラザの「国際交流員による総合学習支援」の事業を活用し、国際交流員の方による授業を実施しています。今回はフローラ・タイリさんが11日（木）に来校しました。（フローラさんは、ドイツ出身の方です。）ドイツといえば、ビールとソーセージが有名です。もちろんそのことも教えていただきましたが、他にも日本の小学校にあたる学校は4年間で終わること、新学期の始まりが8月や9月に始まることなど日本の制度との違いなどドイツの食や学校の様子、札幌の姉妹都市（ミュンヘン）について教えてくれました。



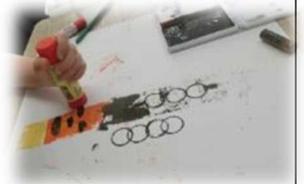
ソーセージにも白ソーセージ、カレー味、レバーを使用したソーセージなどドイツには、約1500種のソーセージがドイツにあることを教えてくれました。

ドイツにはじゃんけで出すグー・チョコ・パーの他に、「フルンネン」と呼ばれ、日本語では「井戸」を意味する出単語で、全部で4種あります。

ドイツの学校制度は、日本の学校制度と異なります。日本は、小学校⇒中学校⇒高校⇒大学・就職等、と進みます。しかしドイツでは、基礎学校（4年間）修了後、成績次第で基幹学校（5年間）か実科学校（6年間）ギムナジウム（9年間）に進むとのことでした。成績次第で…というところがシビアな世界です。その後、経路は異なりますが、大学・大学院へ進めるということでした。（基本、無償なんだそうです。）

### 小学校の場面から

小学生の図工（スタンプペったん）で、道具の特性を生かして色を塗り、絵を描く学習がありました。電池をローラーの代わりに使用したり、固形のり回すところを円形のスタンプとして利用したりなど、子どものアイディアに絵を描くことを楽しんでいることが伝わってきました！



### 授業参観より

10日（水）は、授業参観日でした。小学校（低学年）は国語の授業。中学校は英語の授業を参観していただきました。小学校の国語は、声に出して教科書を読むこと。これには、「はっきりした声で読む。」「相手に聞き取りやすい速さで読む。」という目標があります。また授業の中では、自分の好きなことを文章にして伝えることを行いました。この文章には、「ぼく（私）は、」という主語で始まり、「なぜかというと…」と理由も書き入れることを目標としていました。授業では、この2つの目標に向かって学習に励む子どもの姿がありました。

中学校の英語の学習では、まず前時までに学習した英語での会話の復習です。実際に、英語を話すことは簡単にはいかないことです。それでも、一つ一つ先生と一緒に学習したことができるようになる子どもの頑張りに関心しました。授業では、数字を扱いました。「大きな数」や「first や second」など〇番を表す表現について学び、絵を見て実際の読み方と数字を線でつなぎ、実際の発音も行いながら学びました。

授業を観に来ていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

